

平成 23 年度高知県放送・視聴覚教育夏季特別研修会
高知県高知市旭小学校（平成 23 年 8 月 17 日）

1 授業公開（高知市立旭小学校 特別支援学級 2 名）・研究協議

国語科の学習でNHK学校放送番組の「NHK for school」の「読み書きのツボ・ことばでじょうずにご案内」と電子黒板を活用した学習を展開した。

授業では、体験活動と番組視聴を効果的に取り入れ、子供たちの意見を電子黒板を活用して発表させることができていた。特別支援学級の児童にとっては、地図を用いて自分で実際に操作をすることができるので意欲が途切れることなく学習に集中していた。また、NHK学校放送番組の視聴では、分断視聴をさせ、問題を提示し、児童に考えさせる場面を設定していた。視聴覚機器、放送番組の特性を生かした学習指導であった。さらに、特別支援学級の指導においてもICT機器の活用が有効であると感じさせる授業であった。



<NHK学校放送番組と電子黒板の活用>

2 パネル討議

パネリストは、幼稚園・保育所担当 芝田不比人（高知県立大学教授）、小学校担当 山本健吉（杉の子第2幼稚園）、中学校担当 宮英司（前放送教育研究協議会長）の3名で行われた。高校担当 小島一久（高知学園短大副学長）は、急の公務により欠席された。

テーマは、「各校種において豊かな心と自ら学ぶ力をどのようにとらえるか」「豊かな心と自ら学ぶ力を育てるために、放送・視聴覚教育をどのように活用すればよいか」で、幼児から高校生までの縦のつながりを考える内容であった。